

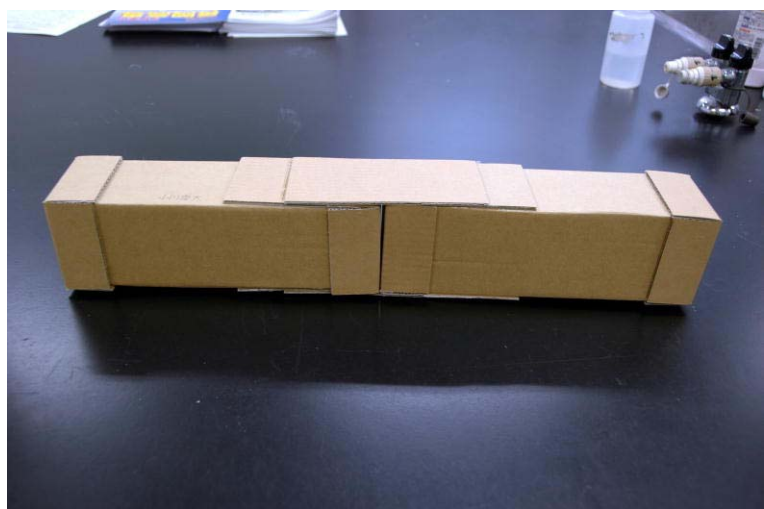
2008年度 長岡高専・中学生科学クラブ

第4回講座 橋の科学

2008年7月19日（土） 9:30～12:00

長岡高専5号館 生物工学実験室

講師：環境都市工学科 塩野 計司 教授



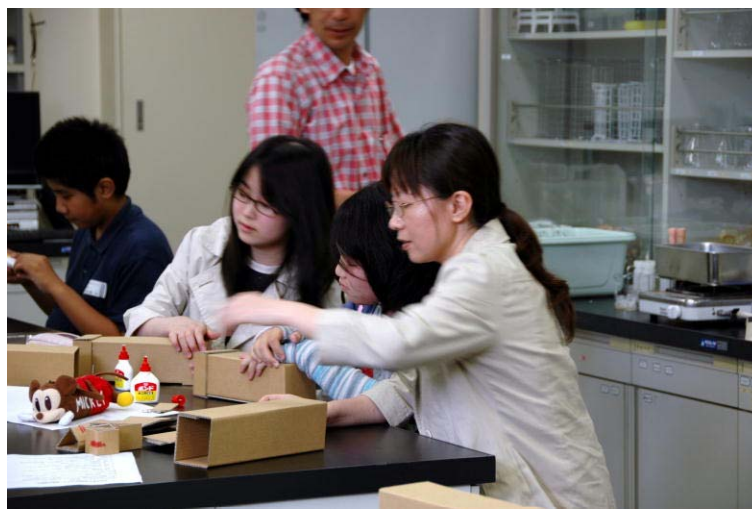
長岡高専中学生科学クラブ4回目の講座は、環境都市工学科塩野教授を講師として「橋の科学」をテーマに公開講座を実施しました。参加者は中学生6名、小学生3名の計9名、保護者3名でした。今回の講座では、薄い段ボール紙を使って全長60cmの橋を作りました。30cmの箱を2個作り、段ボール紙でつないだものです。組み立てには、木工用ボンドを使用しましたが、段ボール紙の向きや張り方を工夫することによって、強い丈夫な橋ができることを学びました。



これまでの1～3回の講座は、物質工学科色が強い内容でしたが、クラブ会員の希望によって、物質工学以外の内容をお願いして開催していきたいものです。

皆、段ボール紙と格闘しながら、上手にボンドをむら無く塗るか（強度を上げるために）、どのような向きに紙を貼ったらよいか、塩野先生の説明を聞きつつ、考え、工夫していたようです。

身の回りの建築物、建造物にも多くの工夫がされていることに興味を持ってほしいものです。



なお、7月26日（土）は第5回講座「米と小麦の科学」（講師：(株)ブルボン）、8月2日（土）は、長岡まつり・ふれあい広場で第6回講座「楽しい科学実験」（長岡市大手通、東進衛星予備校長岡駅東校前）、8月23日（土）は、第7回講座「米について学ぼう。米って生きている。偽コシヒカリを遺伝子で探せ。」（講師：物質工学科菅原、7回目講座は平成20年度新潟県大学「理科・技術力向上機能」活用事業により開催します）。

長岡まつりは、申し込みは必要ありません。小学生・中学生・高専生の参加を待っています。